

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 388

事務事業名	JR大村線関連事業
-------	-----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	商工観光部		
課名	商工振興課		
課長名	高取 和也	内線	240
担当者名	浦山 優	内線	248

基本目標	050202	機能的で環境と調和したまち
政策		道路網の整備と公共交通の利便性の向上
施策		利便性の高い公共交通の確立
関連施策		

会計	一般会計	
款	7	商工費
項	1	商工費
目	1	商工総務費
事業コード	030100	JR大村線関連事業

事業類型	6	施設維持管理(補修)事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	JR利用者及び、JR岩松駅の待合室・駐車場・駐輪場、JR諏訪駅の待合室、JR竹松駅の駐輪場		
意図 対象をどのような状態にしたいか	各駅の施設を良好な状態に保ち、JR利用者の利便性の向上を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	市内各駅において、市が所有する部分を良好な状態に保つため、維持管理を行う。 ・JR岩松駅 待合室、トイレ、駐輪場 等 ・JR諏訪駅 ※待合室のみ市が管理 ・JR竹松駅 駅前駐輪場		
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営、補助
根拠法令、要綱等	大村市自転車の安全利用及び自転車等の放置防止に関する条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 待合室の数	計画値	2	2	2	2	
		実績値	2	2	2		
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
活動指標	② 駐車場・駐輪場の数	計画値	3	3	3	3	
		実績値	3	3	3		
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	① 待合室の利用者数 (岩松駅と諏訪駅の利用者の計)	計画値	274,000	274,000	290,000	290,000	
		実績値	291,176	289,962	289,664		
		達成度	106.3%	105.8%	99.9%		
	② 年間の放置自転車の撤去数	計画値	10	20	20	20	
		実績値	0	82	16	32	
		達成度	0.0%	410.0%	80.0%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	348	1,409	1,288	1,561	1,242	1,278	1,278	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	348	447	443	436	436	436	436	
一般財源	0	962	845	1,125	806	842	842	
② 人件費(千円)	1,628	1,384	1,243	1,323	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.18	0.18	0.15	0.14	長崎新幹線・ 鉄道利用促進協議会負担金	長崎新幹線・ 鉄道利用促進協議会負担金	長崎新幹線・ 鉄道利用促進協議会負担金	H26からJR竹松 駅駐輪場の管理 をこの事業で実 施することになった。
時間外勤務(時間)	25	12	0	60				
嘱託等人数(人)	0.08	0.00	0.10	0.10				
フルコスト(①+②千円)	1,976	2,793	2,531	2,884				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	駐輪自転車の整理及び施錠啓発等を行った。
事業が抱える問題・課題等	大村市内は自転車の盗難が多く、JR竹松駅前駐輪場でも盗難が有っている。今後も施錠等の啓発を行っていく。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	JRを利用する通勤者、通学生に必要な施設であり、利用者のニーズは高い。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	駐輪場、駐車場等は市所有の施設であり代替サービスはない。また、駅前広場の良好な環境を維持するためには市の関与は必要である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	竹松地区の人口増加に伴いJR竹松駅の利用者数は年々増加しており、待合室や駐輪場の利用者も増えている。駐輪場管理等の強化により駐輪場以外への迷惑な駐輪が減り、駅周辺の良好な環境が保たれている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	JR岩松駅の待合室・駐輪場・駐車場等の維持管理については、地元の老人会に委託するなどコスト削減を図っている。また、駐車場使用料などの行政財産使用料は維持管理費に充当している。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持
--------	------

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	JR利用者や学校等へ幅広く呼びかけを行い、駐輪場等利用者の盗難防止意識・施錠意識の向上に努めていく。また、放置自転車の低減のため、市内学校等に放置防止を呼びかける。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	駐輪場等を整理整頓することにより、放置自転車等の減少が図られ、駅周辺の良好な環境が保たれる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。